
彼は吼える 彼女は笑う

上杉 朋也

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

彼は吼える 彼女は笑う

【Nコード】

N5698G

【作者名】

上杉 朋也

【あらすじ】

周囲の人達と自分に壁を感じている高校3年の幹也。そんな幹也に近づこうとする彼の友人達と、一線を引こうとする幹也。彼は友人達を受け入れる事が出来るのか？

第1章 プロローグ(前書き)

シリアスっぽく出来たらいいなあ……………。あ、この話は後で繋がってくるんで。

第1章 プロローグ

彼女は問う。

「これが貴方の望んだ世界？」

彼は答える。

「……………ああ。」

彼女が嘆く。

「貴方が望んだのは孤独？」

彼が答える。

「それは違う。」

二人だけしかない寂しい世界。

「そう……………。貴方は何を望んだの？」

拒んだのは世界の方が

「俺は何も望んじやいないさ。」

それとも……………自分か。

「それでも貴方が受け入れたのは……………この世界。」

そう……受け入れたのは、俺だ。

「寂しいか？」

彼は問う。

「いいえ、貴方がいればどこでも構わない。」

彼女は微笑む。

「そう……か。」

彼は気付いた

「どうしたの？」

気付いてしまった。

「君は……楓はこれでいいのか？」

そう……楓はこの世界を望んでいない。

「この世界を変えられるのは貴方……、幹也の意思だけ。」

楓は笑う。

「今更……どうすればいいんだよ……！」

楓は笑っただけで何も言わない。

「クソ……………クソオオオオオオオオ！」

彼は吼える

彼女は笑う

第1章 プロローグ（後書き）

全然意味分らないですよね。前書きの通り、後の話に繋がるんで興味ない！って言わないでくださいね。頑張るんでよろしくお願ひします。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5698g/>

彼は吼える 彼女は笑う

2010年10月10日07時16分発行